

地球市民プロジェクト

～みらいを変えるきっかけを～



No.1 令和4年度スタート★

令和4年度の「地球市民プロジェクト」がスタートしました。

地球市民プロジェクトとは、1人1人が地球に生きる1人の地球市民（日本人・和歌山県民・有田市民というだけでなく地球に生きている一員であるということ）として、地球の環境に自分が深く関係している事を学び、また、地球に生きる他の人に対して思いやりの気持ちを持って接する事ができるようになることを目標として考えられた本校独自のプロジェクトです。

令和3年度の1年生がその第一期生であり、非常に大きく成長してくれました。

令和4年度記念すべき第1回目の地球市民プロジェクトは、「探究|オリエンテーション」と題して、昨年1年間地球市民プロジェクトを経験した先輩たちがトークライブを繰り広げてくれました。

2年生の代表生徒たちはこの日のために何回か集まり、1年生に何を伝えたら良いのか、しっかりと話し合っていました。



4月20日(水)6限目、体育館にて1年生にとって初めての「総合的な探究の時間」である「地球市民プロジェクト」が行われました。



生徒会長の前座領さんがはじめての挨拶をしてくれ、その後2年生の代表生徒9名がトークライブを繰り広げてくれました。パワーポイントのスライドは2年3組の文六くんが作成してくれました。



- ・地球市民プロジェクトとは何か？
- ・自分が成長したと思うことは？
- ・みらいを変えるマイアクションI、紙芝居とは？
- ・ポスターセッションで印象に残っていることは？
- ・1年生に伝えたいことは？
- ・箕島高校×SDGsアクションプランとは？
- ・SDGsに取り組む企業のインタビューをしてみようなど

2年生の代表生徒9名は一切シナリオを作らず、紙も見ず、自分の言葉でしっかりと思いを伝えてくれました。「はじめは自分たちも発表することが不安だったけど、だんだん慣れてきて楽しくなってきた」「何よりも楽しむ気持ちが一番大事」「必ず成長することができる」「本気で自分から取り組もう」などと、とても前向きなメッセージを伝えてくれました。堂々と話す2年生を前に、1年生の生徒たちもしっかりと聞いてくれました。

～1年生の感想より～

・何も見ずに発表をされていて、すごいと思った。 ・1年間の流れがよく分かった。 ・発表するのが苦手だけど、先輩たちのようにがんばりたい。 ・自分たちができることは何かを考えていきたい。 ・SDGsについて中学校で学んだけど、もっとよく分かった。 ・先輩だけでトークを回っていてかっこよかった。

最後に生徒会長が「自分を変えるきっかけにしてほしい」と述べ、オリエンテーションは終了しました。

2年生の熱い思いがしっかりと伝わった1時間になりました！代表生徒のみなさん、ありがとうございました！！
いよいよ1年生の地球市民プロジェクトがスタートしました★1年後、誰がこの舞台に立って次の1年生にオリエンテーションをするのか、楽しみです！

